

令和8年度
学校だより
第3号

久高幼小中 久高だより

南城市立
久高小中学校
発行者
校長 山田 浩也

【学校教育目標】

○よく考え進んで学ぶ児童生徒 ○粘り強く思いやりのある児童生徒 ○心身ともに健康な児童生徒

あいさつ運動（久高小中）

5月18日（月）から22日（金）にかけて本校では全校児童生徒および教職員によるあいさつ運動が行われています。この運動は年間を通して定期的に取り組みられています。朝の7時40分前後から、10名近くの児童生徒および教職員が、学校の玄関前で行っています。大勢の児童生徒が登校してくる児童生徒及び職員に挨拶を行うため、一人で登校してくる児童生徒にとって、みんなから挨拶を受けることに、「照れくさい、ちょっと恥ずかしい。」などの声も聞かれます。梅雨の期間の取り組みですが、元気でさわやかな挨拶ができるよう、児童生徒の皆さん張り切って頑張っています。



久高タイム（久高幼・小・中）

5月11日（月）の週より、久高小中学校の「三大行事」一つである「追い込み漁」（6月13日実施予定）への取り組みが始まっています。「追い込み漁」は本校の総合的な学習の時間の一環として位置付けられています。「追い込み漁」を行うにあたり、様々な学習のプロセスを経て漁を行います。まず、5月13日（水）に「追い込み漁の歴史」と「海の危険生物」の学習、5月20日（水）には「魚のさばき方」の実習を地域の方々からレクチャーしてもらっています。今後は、島尻消防署の方を講師として招き、「心肺蘇生法」の講習や「海浜清掃」、そして漁に向けての道具の準備などを行っていきます。これらの学習や準備の時間は、午後の時間（主に5～6校時）に行われます。これらの取り組み時間のことを「久高タイム」と称し「追い込み漁」への準備を進めています。



春の遠足（久高幼・小・中）

先月、久高島の麦畑（地元名：ハタス）にて、久高小学校の児童の皆さんが収穫・脱穀した麦を、本校の給食の献立のひとつ（麦ごはん）として登場させています。この麦ごはんは、一口ほおぼるごとに、麦の芳ばしさとプチプチした食感など心地よい噛み応えがありました。児童の皆さんが収穫した島の食材を学校の児童生徒・職員全員で自然の恵みに感謝し、美味しくいただくことができました。学校給食に於ける食育の視点でも「地域と共にある学校」を体験・体感することができました。

